

記者レクの活用について（周知）

1 記者レクについての再周知と積極的な活用の呼びかけ

記者レクとは？

予算、主要事業の実施、各種審議会の答申などで資料だけでは分かりにくいものや、膨大な調査結果などについて、記者に正確に理解し、記事にしてもらうため、随時、担当部局長等が記者に直接説明を行うものです。

また、市長記者会見の事前説明・補足説明や、市長が記者会見を開催できない（しない）場合にも活用できます。

【開催例】

- ◇「市長記者会見発表事項」「予算・決算」「各種審議会答申や各種調査・報告書」などに関するポイント・概要の説明
- ◇資料提供（投げ込み）するもののうち、事前説明を行うべきもの
- ◇市長記者会見の補足・代替

■日程は記者会と協議

記者レクの日程などは、市政記者会との協議が必要です。発表する部局は、発表事項、日時、出席者を早めに広報広聴課に連絡してください。

※市政記者会への開催通知は、原則、担当課が行います。

（抜粋）広報マニュアル

【参考】

○ パブリシティがPRのカギ

パブリシティ活動(Publicity)とは、情報や資料を報道機関に提供したり、取材に応じたりすることにより、ニュースや記事として取り上げられるようにする広報活動であり、マスコミを介した広報活動です。

パブリシティによる広報は、報道機関が自らの判断で、市から提供された情報を取捨選択しコメントを付けて報道し、他の広報手段に比べ、速報性、広域性、信頼性、経済性があり、大きな広報効果が期待できます。

○ パブリシティの方法

パブリシティの方法としては、市長記者会見、記者レク、資料提供（投げ込み）がありますが、どの方法で行うかは提供する情報の内容、重要度をよく検討し判断する必要があります。

的確な報道内容となるよう留意しつつ、積極的な情報提供、取材協力を心掛けてください。